

令和7年 7月23日

令和7年度 第1回 総合教育会議

二十歳のつどいの機会を活用した 更なるシビック・プライドの醸成について

政策局 政策課 広聴広報・シティプロモーション課
教育委員会教育局 生涯学習課

2 趣旨

「高松市二十歳のつどい（旧成人式）」は、成人の日の趣旨を踏まえ、人生の大きな節目の行事として、厳粛で温かみのあるふれたものとなるよう、これまでの開催経緯や対象となる世代の価値観なども考慮しながら、簡素な中にも思い出に残る内容として実施



市内外に在住する将来を担う若者が、**一堂に会する唯一の機会**であることから、これを活用し、**本市の魅力を発信**したり、**街全体で祝賀行事等を行う**などし、**人材の定着やまちづくり**につなげてはどうか、との提案が市議会からあり、**新たな取組を検討する旨、市長が答弁**



取組の検討に当たり、現状の報告とともに、課題や考えられる対応を提示させていただき、今後の進め方の方向性等について、御意見を頂きたい

3 高松市二十歳のつどいの概要

- ▶ 「『成人の日』の式は、成年に達した男女青年の新しい門出を祝福するとともに、成人になろうとする青少年にもその喜びを分かち、将来の幸福を祈念する厳粛であたたかみのあふれたものにする。」（昭和 31 年文部事務次官通達）との趣旨に則り実施
- ▶ 成年年齢が引き下げられた令和 3 年度以降も、従来と同様、**当該年度に20歳に達する方**を対象として、**成人の日（1月の第2月曜日）** 前日の日曜日に開催（午後 1 時から 1 時間程度の日程）
- ▶ 全市域の対象者が参加する**一括中央集合方式**とし、近年は**市文化芸術ホール（サンポートホール高松）**で開催（改修中の期間を除く）
- ▶ **市と教育委員会の共催**で、式典の企画・運営は公募ボランティアの運営スタッフ（20歳前後）が中心となって行う

4 参加者の推移（5年間）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者（人）	4,412	4,356	4,502	4,392	4,419
参加者（人）	2,336	2,351	2,664	2,764	2,571
参加率（%）	52.9	54.0	59.2	62.9	58.2
(参考) 参加者に対する市外在住者事前申込の割合（%）	11.5	13.6	15.9	13.4	13.5

5 プログラム内容（5年間）

令和2年度※3部実施

令和3年度※2部実施

令和4年度

令和5年度

令和6年度

開場・受付（市PR動画・協賛企業の広告映像等上映）

オープニングパフォーマンス

（県警音楽隊）

（高松西高書道部）

（鶴尾太鼓、
市吹奏楽団）

（高松北、高松南、高
松西、高松工芸高の応
援部パフォーマンス）

（県警音楽隊）

開式宣言（運営スタッフ代表）

祝辞（市長、市議会議長）

20歳のメッセージ映像上映・壇上発表（夢や目標等について）

お祝いメッセージ映像
上映

—

市PRプログラム（運営
スタッフが取材した市の魅
力的なスポットを紹介）

—

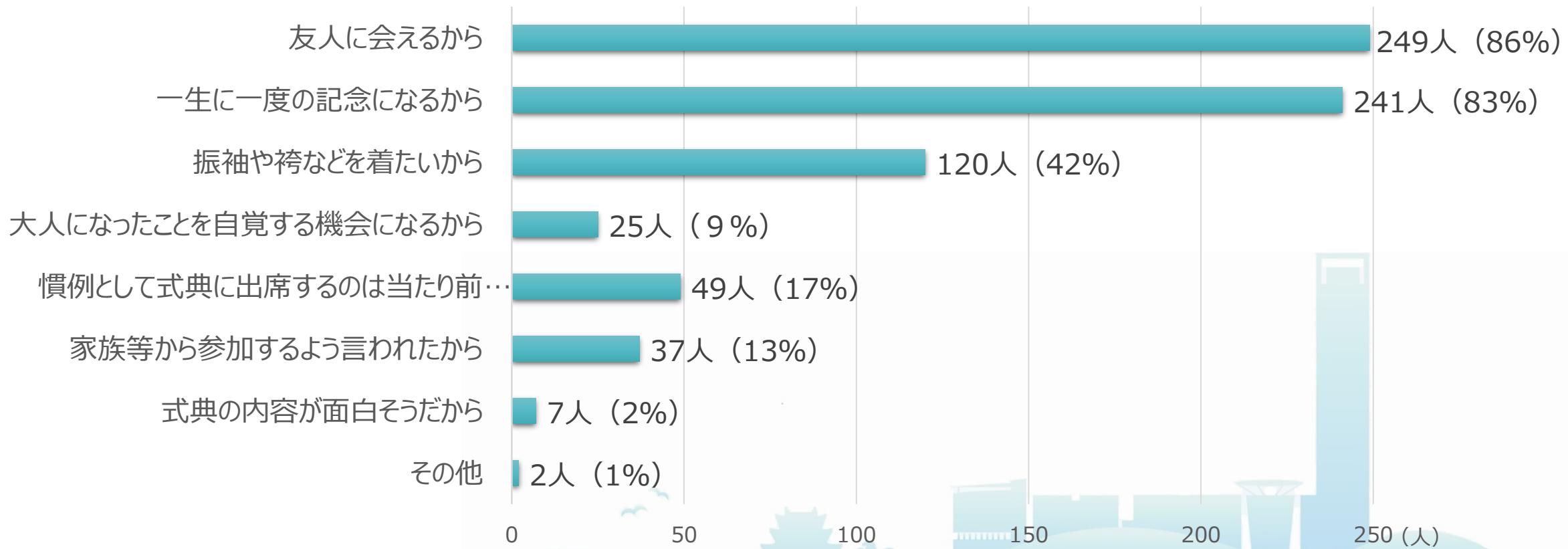
お祝いメッセージ映像上映（高校時代の恩師・スポーツ選手・市出身者等から）

20歳のメッセージ映像
上映・壇上発表

閉式宣言（運営スタッフ代表）

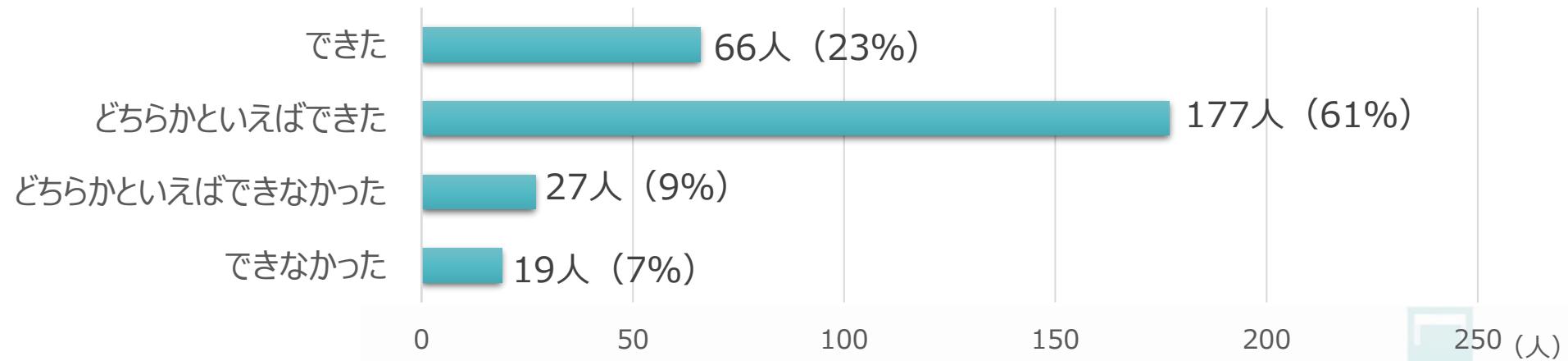
6 令和6年度実施アンケート結果①

二十歳のつどいに参加した理由は何ですか（複数選択）



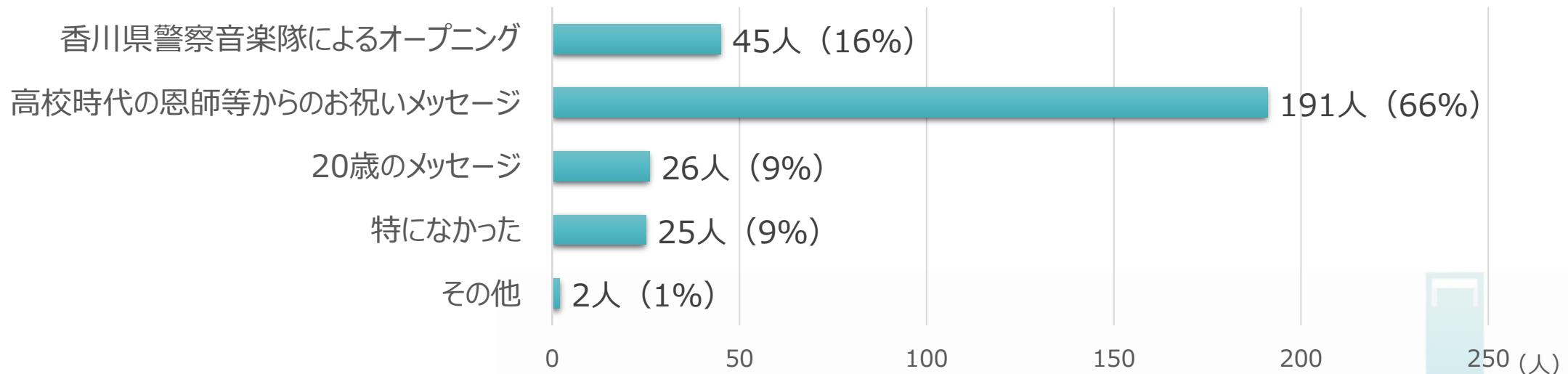
7 令和6年度実施アンケート結果②

二十歳のつどいに参加して自分の将来に対する決意を新たにすることができましたか



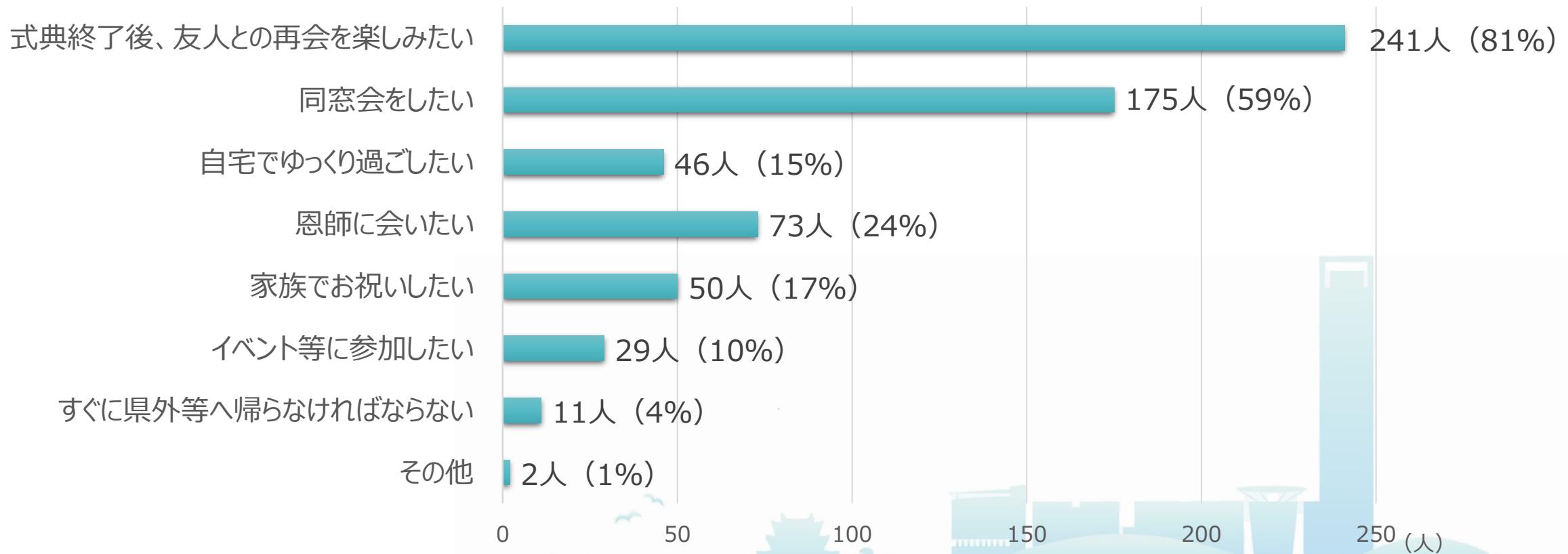
8 令和6年度実施アンケート結果③

二十歳のつどいのプログラムのうちよかつたものはどれですか



9 令和6年度実施アンケート結果④

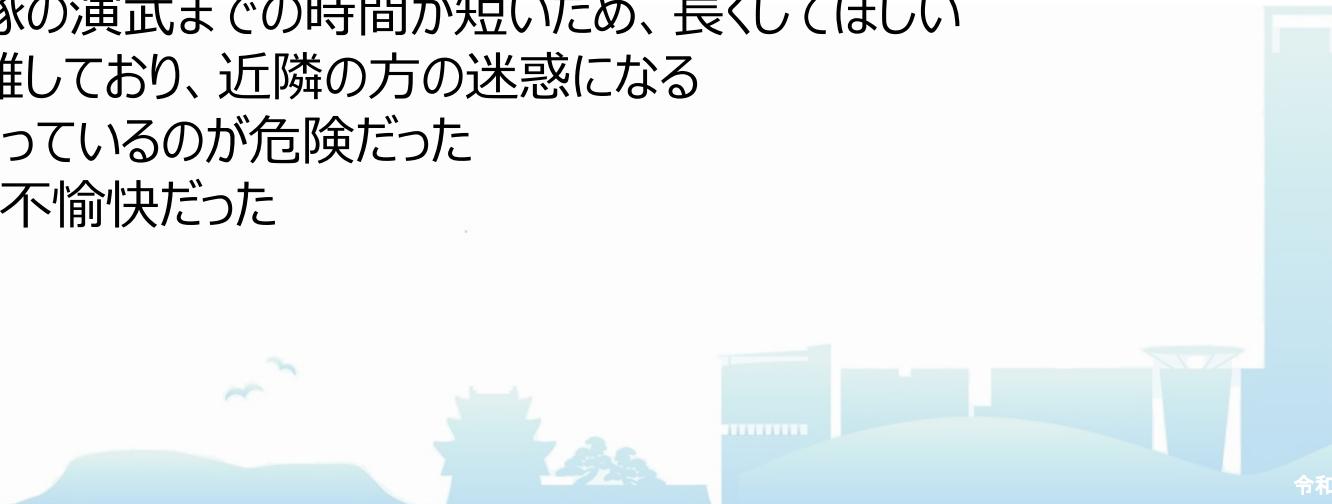
式典当日はどのように過ごしたいですか（複数選択）



10 令和6年度実施アンケート結果⑤

自由記載があった主なもの

- ▶ 高校の恩師や女優の飯沼さん、オリンピック金メダリストの日下さんのメッセージが嬉しかった
- ▶ 市外の高校に通ったため、小学校・中学校の恩師からのメッセージが欲しい（メッセージは市内高校のみ）
- ▶ 高松の同世代で活動している方のパフォーマンスが見たい
- ▶ 未来の自分にメッセージを書きたい
- ▶ 記念品が欲しい
- ▶ 開始時間までに会場に入れず、入場を諦めた（受付時間を長くしてほしい）
- ▶ 式典終了から高松城鉄砲隊の演武までの時間が短いため、長くしてほしい
- ▶ 式典終了後、会場外が混雑しており、近隣の方の迷惑になる
- ▶ 会場外で、参加者が旗を持っているのが危険だった
- ▶ 喫煙・飲酒している方がいて不愉快だった



11 課題とこれまでの取組

I 式典の充実・運営の効率化

参考資料 1

- ▶ 行政主導から公募したスタッフによる企画・運営に転換し、当事者を中心とした若者の意向を反映
- ▶ 受付を入場券引換からスマートフォン事前登録画面提示に改め効率化
- ▶ 施設内の分散会場形式は、利用者の利便性や円滑な運営を阻害しており式典後の滞留も問題

II 参加者に対する情報提供・啓発

参考資料 2

参考資料 3

- ▶ Uターン、高松ファンコミュニティなどの情報をHPに掲示し案内文にアクセス用QRコードを掲載
- ▶ 式典会場で運営スタッフが企画した本市の魅力をPRする動画を上映（令和4年度のみ）
- ▶ 通信キャリア、自動車販売、経済情報出版等の企業協賛を得ていた時期もあったが、現在は1社のみ

III 周辺施設の利用・イベントへの参加促進

参考資料 4

- ▶ 式典当日対象者に玉藻公園無料開放するほか、前回は公園内で高松城鉄砲隊の祝賀演武を実施
- ▶ 市文化施設利用料免除や一部飲食店での割引は、利用が低調であったため廃止
- ▶ 成人の日を啓発する企画への上限30万円の事業費補助は、利用が低調であったため廃止

12

二十歳のつどいの機会を活用したシビック・プライドの 醸成が求められる背景

① 人口減少・少子超高齢社会の進行

② 若年層の県外流出

③ 県内高校生の低い県内進学率



13 今後の取組検討の視点（キーワード）

- ▶ 参加者が、本市で二十歳を迎えて良かったと感じられる
- ▶ 「高松の未来を創るために、自分も関わりたい」と思える
- ▶ 二十歳のつどいが、若者のシビックプライドの醸成や、将来的な本市への定住につながる（本市へのUターンや定住につなげる）
- ▶ 二十歳の門出を、まち全体でお祝いするような仕掛け

(令和6・7年市議会定例会市長答弁に基づく)



14 課題 I 式典の充実・運営の効率化

論点

- エンターテインメント性を求める声もあるが、参加者の多くは現行のプログラムを好意的に受け止めている
- 参加理由は「友人に会える」、「記念になる」が多く、「式典の内容」、「大人を自覚する機会」は少ない
- 運営スタッフと行政職員を中心に運営しているが、地域住民の参画があれば社会全体での祝賀につながる
- 参加者の利便性、会場運営の効率性や安全性からは、1会場に参加者全員を収容することが望ましい
- 周辺エリアは、新たなアリーナ施設、商業施設や歩行者空間が整備されるなど、環境が大きく変化している
- 現行の式典内容について、また環境の変化等を踏まえた会場や運営の在り方について、どう考えるか

考えられる対応

- 参加者の利便性向上を図りつつ、厳粛に、温かく祝福する式典という趣旨を維持してはどうか
- 参加者が主役となるようなステージイベントなどを別に企画して祝祭的な要素を委ね、連動させてはどうか
- 各校区の団体に協力要請し、住民や出身校OBなどに会場運営に携わっていただいてはどうか
- 県立アリーナを開催施設の候補として、必要経費も含め実現可能性を模索してはどうか

15 課題Ⅱ 参加者に対する情報提供・啓発

論点

- 本市の魅力発信は広く各方面で行われているが、二十歳のつどいとの関連付けなどはされていない
- 参加理由は「友人に会える」などが多く、限定的な式典内でのシティ・プロモーション等の効果は未知数
- 市外居住者も含む人材や購買層と接点を持つ絶好の機会と考えられるが、協賛企業数は低調
- **事前案内や式典内だけでなく、幅広い期間や場所、機会でのプロモーション展開について、どう考えるか**

考えられる対応

- インフルエンサーによる本市の魅力発信などの取組を、二十歳のつどいとタイアップさせてはどうか
- 地元企業等との連携も模索し、式典日前後の期間を通じたプロモーションを展開してはどうか
- 二十歳のつどいへの協賛に対する企業等のメリットを見極め、拡大に努めてはどうか
- 人材を求める企業や若い世代をターゲットとする企業の活動との連携の可能性を模索してはどうか

16 課題Ⅲ 周辺施設の利用・イベントへの参加促進

論点

- 近隣商業施設等からは、式典当日は大きな商機と肯定的にとらえる声もある
- 式典日前後には、寒冷な時季であることなどから、会場周辺で実施される既存のイベントはほとんどない
- 公共施設では、単なる特典付与でなく若者の関心を踏まえた企画が必要（前回の鉄砲隊演武は好評）
- **単独・局所的な施設の利用やイベント参加ではなく、エリアで面的に行う取組について、どう考えるか**

考えられる対応

- サンポート及び中心部商店街のエリアごとに、特色あるキャンペーンの実施を働きかけてはどうか
- 式典日前後に、対象世代の関心が高い企画展やスポーツ観戦イベントを開催してはどうか
- 年間を通じ、イベントへの二十歳の方の参加を促進する企画や特典付与を検討してはどうか
- 当日、特徴的なイベントや撮影スポットに参加者を誘導し、本市の魅力発信を担ってもらってはどうか

17

実現を検討する取組の例

- 香川大学創造工学部 2年生（約360名）の必修科目「デザイン思考演習」（R7年度前期）
- 若者の高松定着につなげていくためには、どのような取組を実施すれば良いかの提案を募集
→県立アリーナや商店街を舞台とした音楽イベント、音楽・食・お笑いなどを組み合わせた複合フェス
まちなかで若手芸術家と連携した取組などの提案が多
⇒県立アリーナを舞台に、上記の音楽イベントと「二十歳のつどい」を組み合わせ取組の提案や
「二十歳のつどい」を出会いの場とする提案も
- 今後、「二十歳のつどい」の当事者が自分事として考えた取組についての実現可能性を検討



T
K
M
T

高松で
恋をして
未来を
共に

18 今後の対応

必要な作業

- ▶ **担当課レベルでの定期的な連絡調整**
(市長部局、教育委員会)
- ▶ **連携可能な民間事業者や団体などの掘り起こし、取組の具体化に向けた連絡調整**
(市長部局、教育委員会)
- ▶ **「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）」を活用した事業の検討**
(市長部局)
- ▶ **周辺エリアでの総合的な事業展開に連動した、二十歳のつどい実施内容・会場等の見直し検討**
(教育委員会)

対応方針案

上記の調整や検討を進めながら、本年度は、経費を伴わず実施可能な取組から開始するとともに、次年度に向けて、総合的な事業展開の方向性を確立し、予算化を図る

<参考>二十歳のつどいの機会を活用したシビック・プライドの醸成が求められる背景
①：人口減少・少子超高齢社会の進行

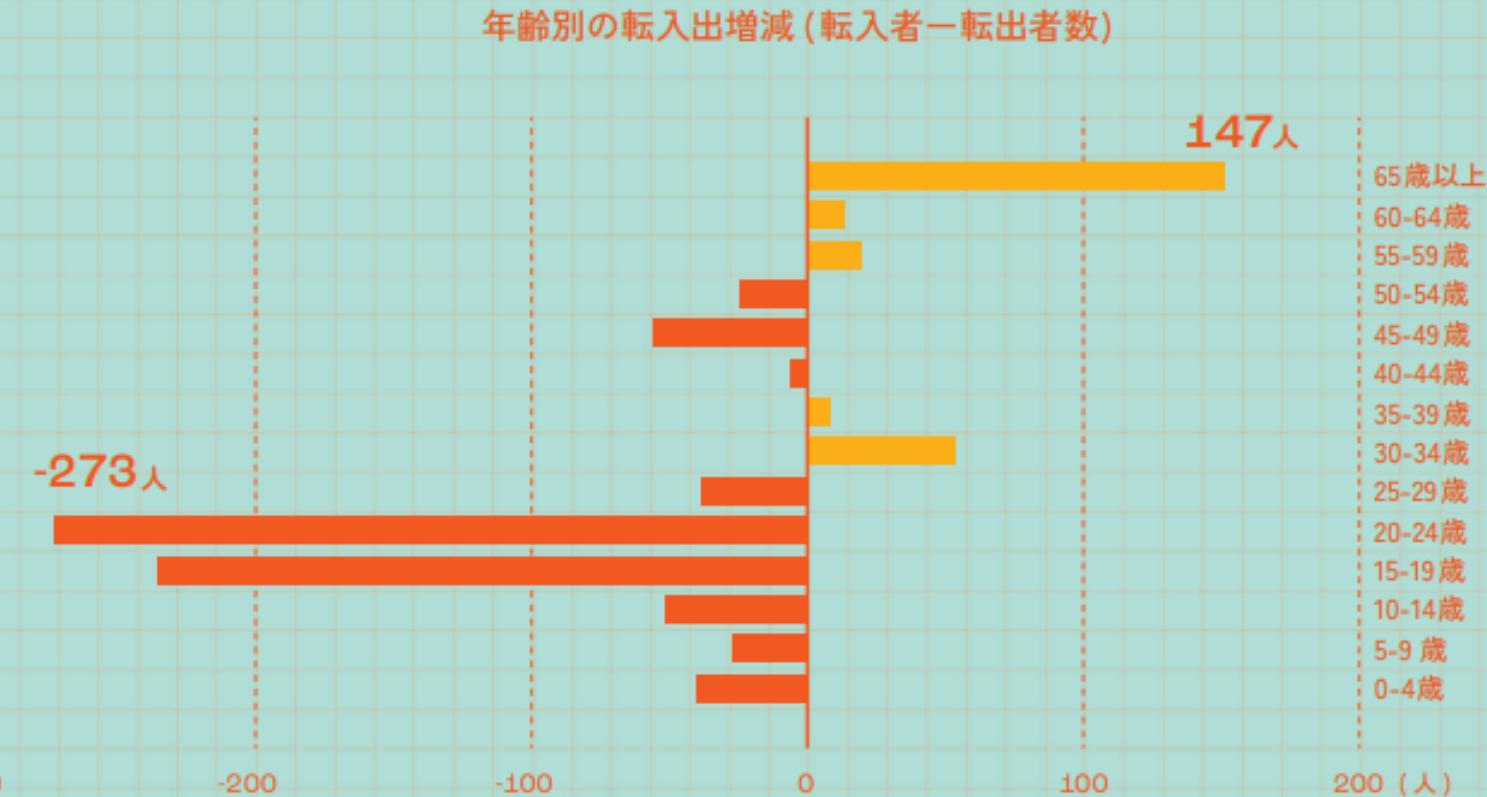
高松市の人口の推移と長期的な見通し



(出典) 2020 年まで総務省「国勢調査」、2025 年以降は高松市「たかまつ人口ビジョン 令和元年度改訂版」をもとに作成

★高松市の人口は緩やかな減少傾向

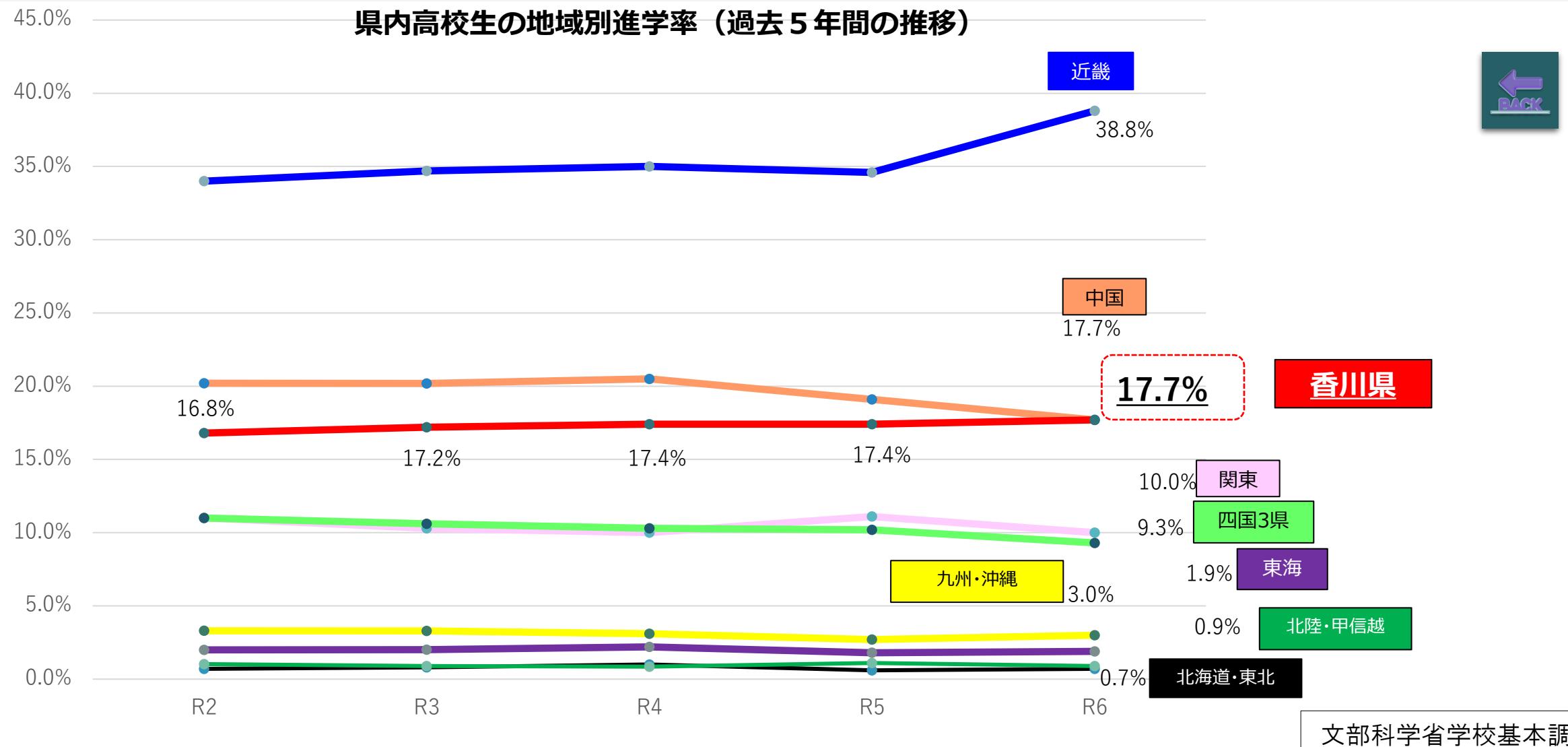
二十歳のつどいの機会を活用したシビック・プライドの醸成が求められる背景② ：若年層の県外流出



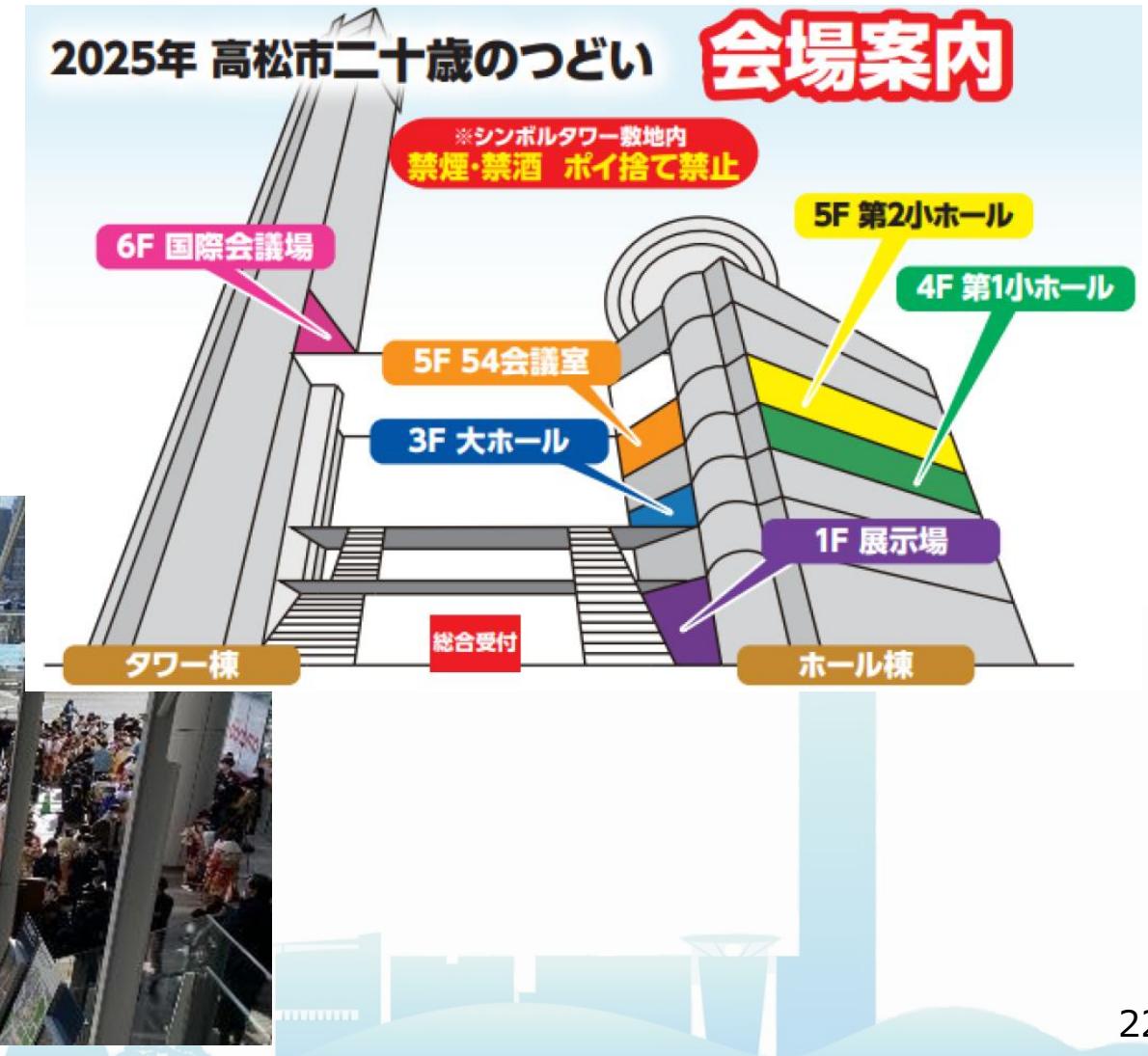
(出典) 総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」をもとに作成
令和元年(2019年)～令和5年(2023年)平均

★県内の若年層は、就職や進学に伴う県外への流出が顕著

二十歳のつどいの機会を活用したシビック・プライドの醸成が求められる背景③ ：県内高校生の低い県内進学率



★県内高校を卒業した大学進学者のうち、県内大学への進学率は17%台で推移（全国ワースト4位）



參考資料 2



二十歳の皆様へのお願い



参考資料3

BACK



PRESENTS

この冊子を提示すれば、新成人に限り、次の施設等に無料で入場又は展示を無料で閲覧できます。

期間：1月12日（月・祝）～3月31日（火）

施設等名称	開館時間	休館日
玉藻公園 ☎851-1521	西門：（1月）7時～17時 （2月）7時～17時30分 （3月）6時30分～18時 東門：8時30分～17時	-
歴史資料館 ☎861-4520	9時～17時 （開館の30分前までに入館）	
石の民俗資料館 ☎845-8484	9時～17時 （開館の30分前までに入館）	
吉南歴史民俗郷土館 ☎879-0717	9時～17時 （開館の30分前までに入館）	
讃岐国分寺跡資料館 ☎874-8840	9時～16時30分	
菊池寛記念館 ☎861-4502	9時～17時 （開館の30分前までに入館）	
高松市美術館 ☎823-1711	平成27年1月から 平成28年3月（予定）まで 改修工事のため休館	
高松市唐江美術館 ☎893-1800	9時～17時 （開館の30分前までに入館）	

※高松市主催の展覧会等に限ります。
※開館時間及び休館日は、上記の期間中のものです。
※休館日が休日に当たるときは開館し、その翌日が休館日になります。

30

31

主な特別展

玉藻公園
平成26年12月1日（月）～平成27年1月31日（土）
「松ぼっくりツリーの展示」
平成27年2月7日（土）
「菊作り講習会」
平成27年3月上旬～4月上旬
「春の植木市」
平成27年3月14日（土）～15日（日）
「第32回香川の漆器まつり」

塙江美術館
平成26年11月14日（金）～平成27年1月18日（日）
「大木裕之展 現代子」
平成27年1月25日（日）～3月8日（日）
「HANNA+千葉尚実展」（予定）
平成27年3月14日（土）～3月29日（日）
「アートリンクプロジェクト+塙江」（予定）
平成26年12月6日（土）～平成27年4月19日（日）
「平成26年度第3期常設展」（予定）

高松市歴史資料館
平成27年2月7日（土）～3月22日（日）
「商店街のあの頃この頃～高松の中心街～」（仮称）

石の民俗資料館
平成27年1月10日（土）～2月15日（日）
「第29回思可年展」
平成27年2月28日（土）～3月29日（日）
「収蔵品展」（仮称）

讃岐国分寺跡資料館
平成27年1月14日（水）～2月15日（日）
「史跡・天然記念物属島指定80周年記念」（仮称）

